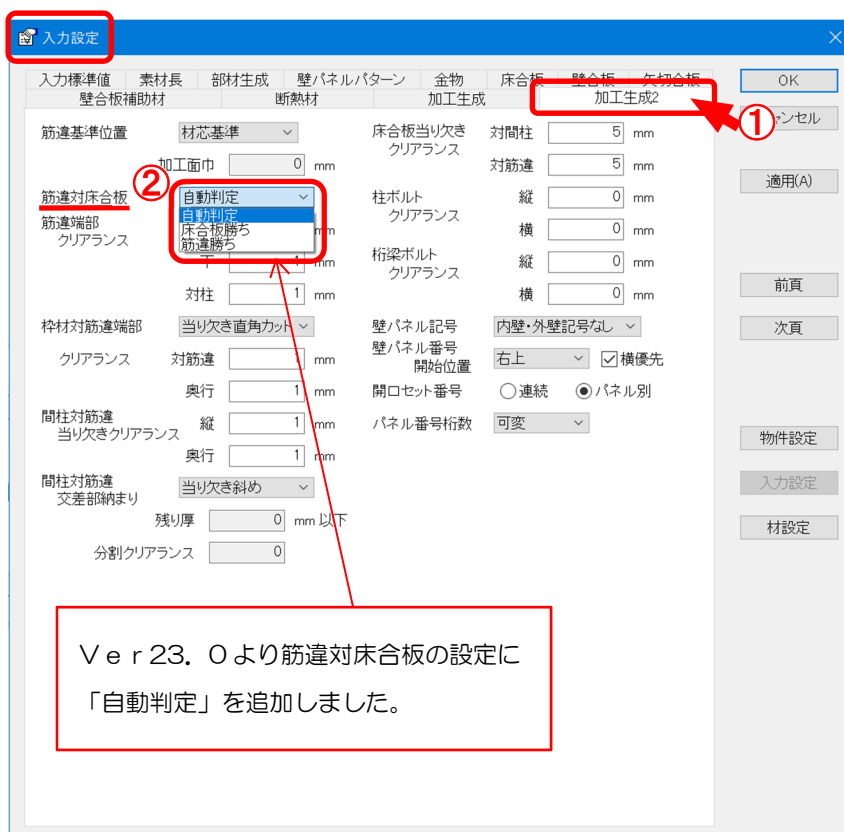


筋違端部対床合板判定機能を追加

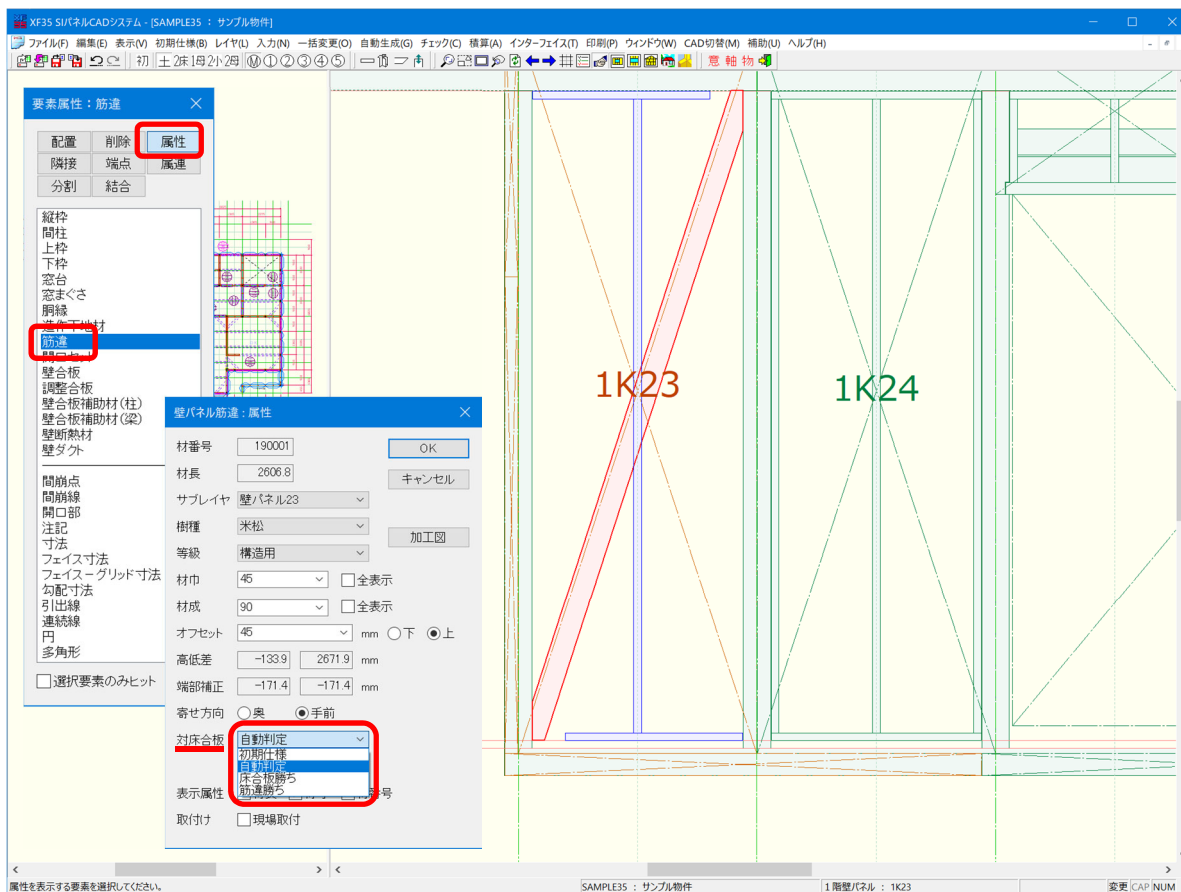


Ver 23.0より〔初期仕様－入力設定〕の「加工生成－筋違対床合板」の設定に「自動判定」を追加しました。床合板、床合板床補助材、調整合板の有無を判定して、筋違の端部を決定します。筋違の属性でも選択できます。


- ① 〔入力設定－加工生成2〕をクリックします。
- ② 自動判定：床合板の有無を判定して筋違の端部の床合板勝ち/筋違勝ちを決定します。
筋違下端部が床合板、床補助材、調整合板と当たる箇所は、筋違下端の位置が床合板勝ちで決まります。
筋違下端部に床合板、床補助材、調整合板が配置されていない箇所は、筋違下端の位置が筋違勝ちで決まります。

※床合板、床補助材はXSTAR合板CADで配置する要素で、調整合板はXF35で配置する要素です。

筋違端部対床合板判定機能を追加



① 「入力 - 要素」の「属性 - 筋違 - 対床合板」でも「自動判定」が選択できます。



属連で一括変更できます。